



市長通信



— Mayor's Newsletter —

「自助・共助・公助」そして「近助(近所)」が大切 困った時はお互い様！



皆様、いつもありがとうございます。7月28日に発生した「令和8年熊本地震」において、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、ご遺族の皆様に謹んでお悔やみを申し上げます。また、被災された全ての方々に心からお見舞いを申し上げます。



被災地へ届ける義援金を呼び掛けています。

私は、発災直後に本市として何ができるのかを考え、翌日には関係部長を集め支援について検討を行いました。30日には市役所本庁舎や支所、公民館など市内60カ所の公共施設に義援金箱を設置し、8月3・17日に川口駅東口において義援金の街頭活動を行いました。その際には皆様から多くの温かいお気持ちを感じ、心から感謝いたします。4日には埼玉県からの要請を受け2名の職員を11日まで、熊本市内の避難所運営支援に派遣しました。こうした大変な状況の中、若い職員が積極的に志願し、被災された方々の力になろうとしてくれたことを大変心強く、そして、嬉しく感じています。今後も被災地の日も早い復旧・復興に向けて、市としてできる支援を行っていきます。



熊本市内での避難所運営支援のため、8月4日～11日に職員を派遣しました。

本市で同規模の災害が発生したとき、どのような対応をとるべきなのか、備えは十分なのか、避難所の環境は整っているのかなどの思いが巡りました。特に、多くの市民の皆様が避難生活を余儀なくされることを考えると、避難所となる市内小学校体育館で安心して過ごしていただくためにもエアコンの整備は重要であり、できる限り早急に進めなくてはならないと改めて認識したところです。

これまで私は町会・自治会の行事や防災訓練に参加した際に「自助・共助・公助」のみならず、「近助(近所)」も大切とお伝えしてきました。日頃から近所と交流を持つておくことは有事の際には大きな力になります。町会・自治会活動を通じた助け合いの精神、防災意識の向上、地域や近所の課題の共有が図られることが大切であると感じているからです。また、いつ起こるかわからない災害に備えて、ご家庭でも最低3日分の生活必需品を備蓄しておきましょう。

そして、皆様には、それぞれ仕事や育児などがあるため町会・自治会活動の全てに関わることは難しいと思います。そうした中でも、それぞれの立場でできることを行っていただければ、川口市は更に有事に強いまちになり、「困った時はお互

市長のつぶやき



今年のたたら祭りは
9月26日(土)・27日(日)に開催します。
皆様のご来場をお待ちしています。
ぜひ一緒に楽しみましょう！

「市長が聴く」の合間に不定期で、私が日頃から考えていること、感じていることをこの「市長通信」で皆様にお伝えしていきます。

まだまだ暑い日が続くと思いますが、健康にご留意ください。

◇ ◇ ◇

「市長が聴く」の合間に不定期で、私が日頃から考えていること、感じていることをこの「市長通信」で皆様にお伝えしていきます。

